

いわばな
「岩鼻」 県指定（天然記念物）

所在地：坂城町及び上田市 所有者：南条生産森林組合ほか 指定：昭和49年1月17日

坂城町^{ねずみじゆく}鼠宿と上田市^{しもしおじり}下塩尻の岩鼻および上田市^{はんが}半過の岩鼻は、千曲川を隔てて相對している断崖絶壁の岩場です。この両岩鼻は、坂城広谷の南の入口を扼する^{やく}狭間で、地形、地質的にも特色のあるところであり、気象的にも特殊な現象をもっています。この特異な自然現象をもつ岩鼻に、モイワナズナ、シモフリナデシコ、ミヤマビャクシンなどが自生し、チョウゲンボウが生息しています。このような特殊な植物、動物が自生、生息していることから、この岩鼻が天然記念物として県の指定なっています。

モイワナズナは寒帯に分布する植物ですが、日本では北海道の^{もいわやま}藻岩山に産するのでこの名があります。この岩鼻は、北海道を除いた日本における唯一の自生地です。4月の末にこの岩場に小さい白い十字花を^{そうじょうかじょ}総状花序で咲かせます。寒地遺存植物として分布上貴重です。シモフリナデシコはタカネナデシコの一変種で、^{しろうまれんぼう}白馬連峰に分布しています。ミヤマビャクシンは高山の岩場の植物です。

チョウゲンボウはハヤブサ科の鳥で、絶壁の岩間に巣をつくります。岩鼻の気流に乗って上空の一か所に停止して地上の獲物をねらっている姿がよくみられます。

